

定点観測者としての通信社

A news agency as eyewitness

報道写真展



1946年8月、前年8月に長崎に投下された原子爆弾で倒壊した「浦上天主堂」跡で祈りをささげる信徒たち

# 戦争と平和

— 80年の記憶 —

Photo Exhibition

## War and Peace — 80 Years of Memories —

入場無料

会期

2025年1月11日[土] — 27日[月]

9:00~21:00 [初日 10:00 から / 最終日 18:00 まで]

会期中無休

会場

東京国際フォーラム ロビーギャラリー

主催 公益財団法人新聞通信調査会  
協力 共同通信社

 新聞通信調査会  
JAPAN PRESS RESEARCH INSTITUTE



# 「平和」って何だろう—— 戦後80年を報道写真で振り返る

1945年8月15日の終戦から、間もなく80年を迎える。  
あれからの長い期間、日本は直接の戦禍を被ることはなかった。  
しかし世界に目を転じると、この間も戦争や武力紛争は絶え間なく続いた。  
国内でも安全保障や近隣国の戦争をめぐる大きな議論が、  
しばしば巻き起こった。  
今回の報道写真展シリーズ「定点観測者としての通信社」は、  
107枚の写真で日本の歩んだ「戦争と平和」を振り返り、  
遠ざかる戦争の記憶とともに過去からつながる「今」を見つめる。

プロローグ：80年の時を経て  
第1章：過信の果て  
第2章：「平和国家」の虚実  
第3章：混迷の時代  
エピローグ：戦火の子どもたち



1946年8月5日、広島原爆から1年たった市街



1947年12月29日、東京裁判の法廷に座る東条英機



1953年12月27日、歳末の大阪で募金を呼び掛ける傷痍軍人



2015年8月30日、国会議事堂正門前で安保関連法に抗議



2016年5月27日、広島で被爆者を抱くオバマ米大統領



2004年2月8日、復興支援でイラク入りする陸上自衛隊

## 戦争と平和

— 80年の記憶 —

【会場】 東京国際フォーラム ロビーギャラリー

東京都千代田区丸の内3-5-1 <https://www.t-i-forum.co.jp/access/access>

【交通】 JR線：有楽町駅から徒歩1分／東京駅から徒歩5分

地下鉄 有楽町線：有楽町駅（B1F地下コンコースで連絡）

千代田線：二重橋前駅から徒歩5分／日比谷駅から徒歩7分

丸の内線：銀座駅から徒歩5分

銀座線：銀座駅から徒歩7分／京橋駅から徒歩7分

三田線：日比谷駅から徒歩5分

